

表面処理

長期にわたるARC 797システムの性能にとって適切な表面処理が非常に大切です。

準備されたコンクリート面は構造的に強固で、汚染が完全に除去され、ICRI CSP 3プロファイル(#60グリットサンドペーパーの仕上げに類似)まで粗くする必要があります。ARC 797プライマーでは、表面は湿っていてもかまいませんが、濡れてはなりません(水が溜まっている状態)。

スラブオングレードでは、ベーパーバリア(防湿気密層)が必要です。ベーパーバリアがない場合、透湿性をチェックすることが不可欠です。

表面洗浄とプロファイル作成方法

ハイドロブラスト	表面の傷つけ	粗仕上げ
スチールショットブラスト	乾式研磨ブラスト	研磨

古いコンクリートに固有:

すべての表面汚染を完全に除去します:

古いコーティング	塵芥	レイタンス
水溶性塩	砕けたコンクリート	疎水性汚染物質

コンクリート面を乳化アルカリ、水溶性クリーナーでグリース、オイル、アカを除去し、完全に洗い流します。

上記の表面洗浄方法の1つまたは複数を使用します。

新しいコンクリートに固有:

新しいコンクリートは準備する前に28日以上硬化させる必要があります。

上記の表面洗浄方法の1つまたは複数を使用します。

混合

797プライマーの成分は、正しい製品混合比に応じた割合で測定済みです。

パートAをパートBに加え、透明になるまで十分に混合します。

可使時間/ポットライフ

	10°C	16°C	25°C	32°C
ARC 797プライマー	65分	40分	30分	18分

塗布

- ARC 797は、複数コート使用時にスタンドアロンシーラーとして使用することも、NVEシステムキットとNVEバールコート以外の他のARCコーティング用のプライマーとして使用することもできます。
- 垂直基材および非常に多孔性のコンクリート面への塗布では、ウェット・オン・ウェットで2回のコートを塗布することでダブルプライムする必要のある場合があります。
- ブラシ、ローラー、ヘラ、またはスプレーを使って準備したばかりのコンクリート面に湿潤膜厚175~250 μmまでARC 797を均一に塗布します。プライマーがたまらないようにしてください。
- トップコートとして、または複数コートとして使用する場合には、周囲条件によって異なりますが、4時間以内にトップコートを塗布できる表面積以外はプライムしないでください。

- 下のチャートに基づく作業時間の終わりまでに混合したプライマーをすべて塗布してください。
- 水蒸気ガス抜け膨れの可能性を低減するために、コンクリートの温度の上昇中は797を施さないでください。屋外の場合、夕方や夜間に施した方がこのような問題を回避できます。
- 軽荷重状態になる前に、ARCビニルエステルコーティングを除く任意のARCエポキシ材料でARC 797を上塗りすることもできます。

塗布面積/拡散

厚み	ユニットサイズ	塗布面積
250 μm	16L	64.00 m ²

硬化スケジュール

	10°C	16°C	25°C	32°C
不粘着	2時間	1.5時間	1時間	0.75時間
軽荷重	5時間	4時間	3時間	2時間
上塗り終了	8時間	6時間	4時間	3時間
全荷重	12時間	18時間	12時間	8時間
全薬品耐性	36時間	24時間	18時間	12時間

完全な化学薬品特性は、強制硬化によって迅速に達成することもできます。強制硬化をするには、まず材料が不粘着状態になるようにしてから、70°Cで4時間加熱します。

洗浄

ツールは、市販されている溶剤(アセトン、キシレン、アルコール、メチルエチルケトン)を使用して、使用後直ちに洗浄してください。硬化してしまうと、材料を剥し落とさなければならなくなります。

安全性

製品をご使用になる前に、現地の適切な安全性データシート(SDS)または安全性シートをご確認ください。適切な場合、標準的な密閉空間立入りおよび作業手順に従うようにしてください。

保管寿命(未開封容器内): 3年間 [乾燥した冷暗所で10°C~32°Cの温度で保管]